



俺の夏休みは

若女将
バイト
性生活!?

ガルの

4

Ore no Natuyasumi ha Gal no Wakaokami to Baito Seikata!?

ぺい

このお荷物
松の間に運んで！

あちらのお客様の
案内お願いします！

この荷物の数：
社員旅行か何か
かな？

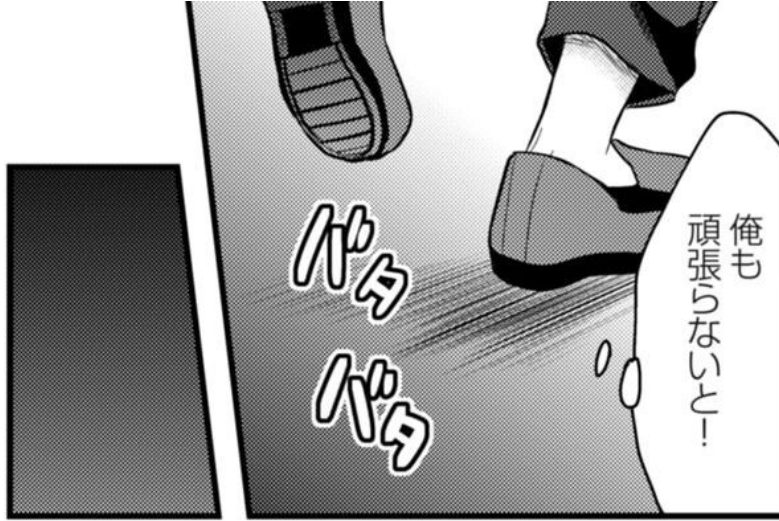
今日は俺が
このバイトに
入って以来の
忙しさです

いらっしやいませ〜

ごゆるりして
いらしてください

女将さん
すごいな…

こんなに忙しいのに
そんな様子感じられない
ぐらゐの笑顔で
お客さんと接してる



俺も
頑張らないとー!



ほらボサッと
してないで!

追加の
荷物だよ

はっ
はい!



はあ...
疲れた



もうじつかり働いて
女将さんが言ってくれた言葉は
見合っついたらならないと...

すっ...



やっぱり西倉くん
かっこいいな...♡



確かあのお客さん達
二泊三日ぐらいするって
言ってたよな

明日も
この忙しさが
続くのか...

ふう



女将さん
すみません!!

いいって
いいって
いいって

あたし的には西倉くんの
可愛い寝顔も見れたし♡

今日も忙しくなるから
準備出来たら厨房の手伝い
お願いね♡

決意したのに
早速やっちゃった
じゃないか!!

頑張つて
挽回しないと…!!

ガヤ

ガヤ

どうぞ

ごゆっくり
お楽しみ
ください♡

この宴会さえ
乗り切れば
今日は終わりだな

ガヤ

ガヤ



姉ちゃん若いのに
しつかりしてるね

こんな可愛い子に
注いでもらえるなら
もう一本頼もうかなあ？

え
本当ですか？
嬉しい♡



名前なんて
言うの？

おじさんに
教えてよ



あの客…触りすぎ
じゃないか？



え？
やっぱ名前聞くの
NGだった？

あの...お客様...



でも
おじさんにだけ
こっそり
教えてよ〜



おい！
服にかかった
じゃないか！

申し訳ありません！



うわっ！



最悪...

でもお客様を
はねのけるわけにも
いかないしどうしよ...



すぐに替えの浴衣を
お持ちしますので
あちらのお部屋で
お着替えください！

まったく…
早く持って
きてくれ！

…



終わった〜

ぽん

挽回しようと思ってたのに
最後の最後で
やらかした気がする…！

うおお…

他のお客様にも
迷惑かけちゃったし
もっとスマートな助け方が
あったらどう俺…！！



…



西倉くん

今日一緒に寝てもいいかな…？



はい!

かちゃ



パジャマ姿可愛い…

い…いいですけど
なんで急に…？

なんでって…
えっと…ほら!

明日も寝坊しないように
添い寝しようと思つて!

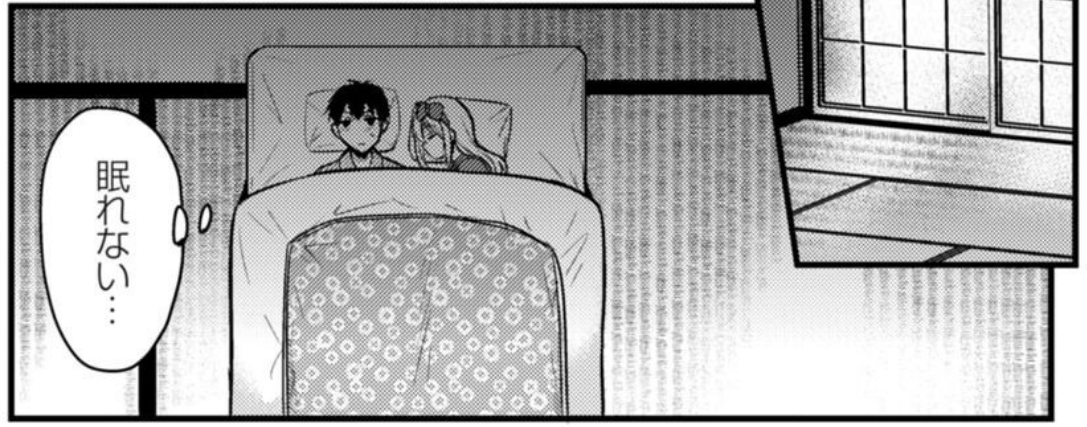
どキ
〜っ



どキ



駄目…？



眠れない…



…今日は
助けてくれて
ありがとう

西倉くんかっこ良くて
ますます好きに
なっちゃった



…っ

びくっ

だって…

ぐいっ

…そんな
俺女将さんの
言うような
かっこいい男には
まだ程遠いですよ



これはもう
女将さんにちゃんと
伝えた方がいいよな

違い…ます…
そうじゃないんです

びくっ
びくっ
びくっ

もしかして今日
忙しかったから
体調崩しちゃった？



慣れてきたと
思ったけど
やっぱりまだ…

どうしたの？
顔色悪いけど大丈夫？

ヤッ…!



すみません
そういう意味で言ったん
じゃないんです！

もしかしてあたし
嫌われてる!?



え…？

俺…実は
金髪のギャルっぽい子が
苦手な近寄られると
体調が悪くなるんです

俺…
昔いじめられてた
ことがあって…

たぶん
クラスメイトからの
好意を断ったのが原因だと
思うんですけど

その子の仲間グループに
目をつけられちゃて…

だから未だに
主犯格の子と同じ風貌を
見かけると動悸がするんです

だから女将さんが
俺のことかっこいいって
思ってくれるのは
嬉しいんですけど

どうしても自分に
自信が持てないんです

わっ

何それ
ひどい!!

逆恨みじゃん!!

ヒトクン

もしその人達に
風貌が似てたとしても

あたしは絶対に
西倉くんに
ひどいことしないよ

ヒトクン

女将さん…

さっきまでの
恐怖が薄れてく…

ヒトクン

あの…
女将さん
そろそろ…

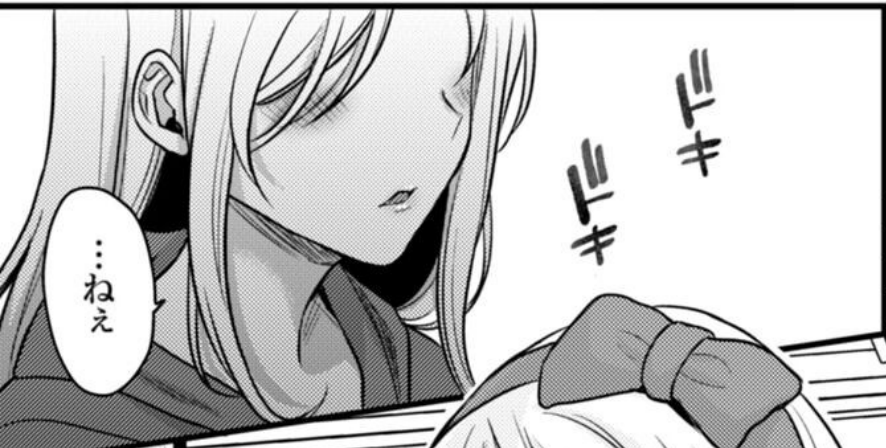
ギャー

柔らかい感触が…
それに良いにおいがする

ウラ…

あれ？
もしかして
興奮しちゃった？





…ねえ

ドキ
ドキ



いやっ
えっと…

もう隠さなくても
いいのに

金髪が怖いのに
あたしにはドキドキして
くれるって嬉しいな♡



ドキ

あたしが
トラウマ上書きして
あげるよ？

ドキ



あたしも今
ドキドキしてるの
わかる？

もっとドキドキ
させてほしいな

ギク

女将さん…

…今は

ドキ





ふふ...

ん...♡

ん...♡

ん...♡

ん...♡

ん...♡

ん...♡

ん...♡



ん...♡



ん...♡

ねえ頭なでてほしいな?



ん...♡

ん...♡



ん...♡

ほら気持ちいい状態であたしの髪の毛触ったら金髪が怖いっていう記憶が変わるかなあつて

ん...♡

もっと硬く
なってきた♡

作戦成功かな？

それにこれ
あたしも嬉しく
なっちゃう♡

駄目…
我慢出来ない…っ

は、

次はご褒美
あげる…♡

女将さん…？

西倉くん怖がらずに
ちゃんと撫でられて
えらいじゃん





だーめ



はっ...



余計なこと考えないで
ここに集中して...?



はっ...はっ...はっ...



この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を
無断転載・複写・複製・配信
送信（ホームページ上への転載を含む）
アップロード・デジタル化することを禁止します。
また本作品の内容を無断で改変・改ざんを
行うことも禁止します。

forCS